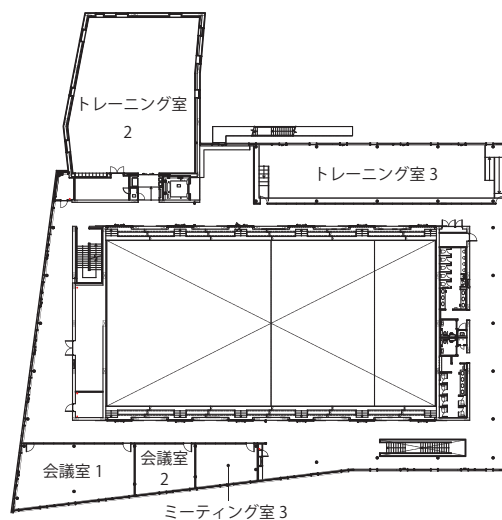
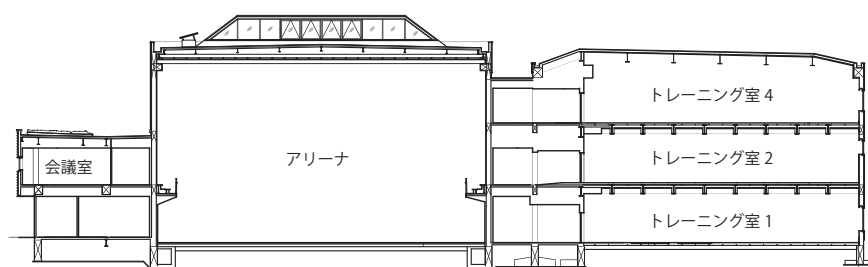


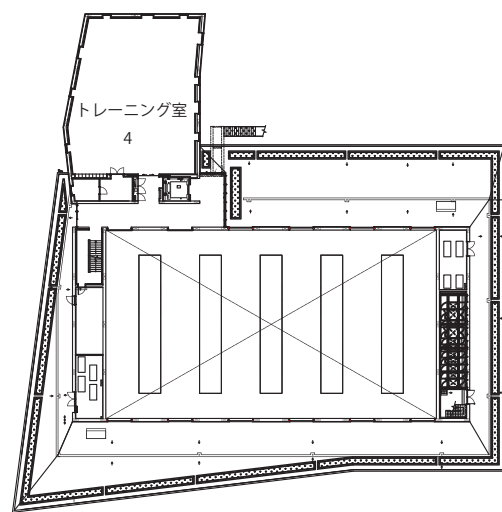
1階平面図



2階平面図



断面図

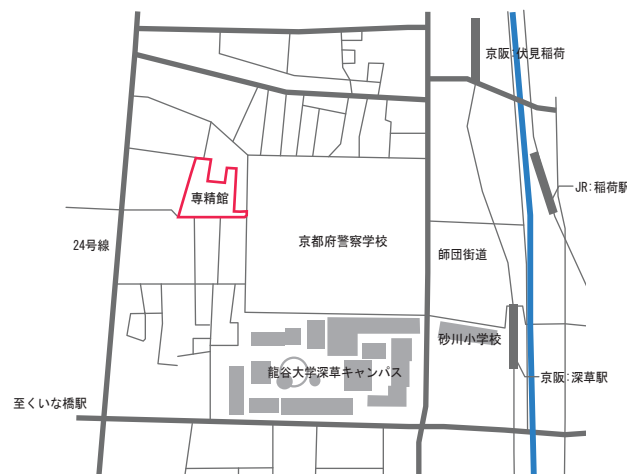


3階平面図



龍谷大学 深草キャンパス
Ryukoku University Fukakusa Campus

専精館 SENSHOKAN



■専精館建築概要

名称：専精館（せんしょうかん）
用途：学校（体育館）
規模：地上3階
構造：鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
建築面積：2,896.08 m²（駐輪場 75.6 m²）
延床面積：5,382.30 m²（駐輪場 135 m²）
最高高さ：16.4m

工期：2015年7月～2016年9月
設計監理：株式会社 飯田善彦建築工房
施工：株式会社 竹中工務店



■設計趣旨

専精館は、「RYUKOKU Vision2020」に2020年の将来像として示している「正課・課外活動を通じて、学生の主体的な活動を積極的に支援するとともに、学生自らの人間的な成長を促し、自律的に行動する学生を輩出する大学になる」を実現することを目的として整備しました。

アリーナを1階中央に配置し、周囲にミーティングルームや会議室などを配置することで、利用者の利便性を向上するとともに、周辺環境にも配慮しています。また、全館空調を採用し、1年を通じてスポーツ活動等に適した環境を整備しています。

■アリーナ

床面積約1,000㎡のアリーナでは、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ハンドボールのラインを整えています。また、天井高13mを確保し、バトントワリングにも対応しています。

アリーナには空調を完備しており、吹き出し口は、競技へ風の影響が生じないよう南北の端に配置しています。

トップライトと南北の窓から自然光を取り入れることができ、ブラインドで調節することで、それぞれの競技に支障が生じないように適切な環境を整えることができます。

■トレーニング室

トレーニング室を4室整備しています。様々な用途で活用できるように、ゴムマット、柔道畳、フローリングの3種類の床材を使い分け、可能な限り多様な競技で活用できるように整備しています。

アリーナと同様に空調設備を完備しています。また、1、2階には冷水機と製氷機を設置し、学生が快適かつ安全に活動できる設備を整えています。



1F トレーニング室1(ゴムマット)



2F トレーニング室2(柔道畳)



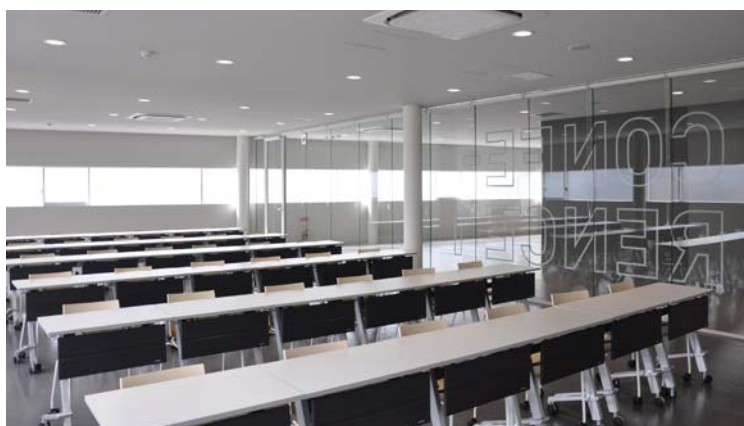
2F トレーニング室3(フローリング)



3F トレーニング室4(フローリング)

ミーティング室・会議室

1階にはアリーナと連動して利用することができるミーティング室を2室、2階には会議室2室、ミーティング室1室を設け、スポーツだけでなく様々な用途に利用可能な環境を整備しています。また廊下面に対してガラスを採用し、内部の活動を可視化し、開放的な環境を整備しています。



共用部

アリーナの周囲の廊下は十分な寸法が確保され、一部ラウンジの様に利用することができ、学生の交流の場となります。また2階廊下は軽い準備運動に利用することを想定し、見通しのよい空間とし、床面にはラダートレーニングなどのラインをモチーフとしたサインを施すことで、柔軟な利用を可能とする工夫をしています。

